

所本月九日別紙ノ通宣告相成リ候ニ付此段及御回
答候也 十三年十二月十一日

山梨縣甲斐國中宮摩郡

龍王村士族當時西山梨郡

泉所寄留

中村始太郎

其方儀峽中新報第四百七十四号雜報欄内ニ於テ内
閣ノ職務ニ関シ謾毀スル科謗謗律第四條ニ照シ禁
獄七ヶ月罰金百圓申付ル

明治十三年十二月九日

十三年十月三十日

魁新聞中内閣ノ職務ニ關シ謾毀スル科謗謗律第四條
ニ依リ處分

内務省照會 内閣書記官宛

魁新聞其他二種ノ新聞雜報中ニ別紙ノ通新聞社會
ノ命脉及或ル薩藩出ノ參議某君云々等ノ事項掲載
有之石ハ御參考ノ為メ及御送付候條御一覽濟ノ上
御返却有之度候也 十三年十月三十日

魁新聞第四十五号雜報欄内抄録

前回ニモ報道セシ如ク新聞社會ノ命脉ハ愈々危嶮
ノ域ニ陥ラントスルノ勢ニアリ此比ノ巷説ニヨレ
ハ或ル貴顯ハ曾テ内閣ニ於テ國會請願者處分論案
リシ時頻リニ新聞社ヲ處置スルノ説ヲ主張サレ一

体國會論ノ起因タル本来其主唱者ナル二三ノ新聞
 記者ナルモノアリテ矢鱈ニ國會々々ト論シ立ツル
 処カラ畢竟今日ノ勢ヒヲ致シタル譯ニテ殊ニ又十
 一月ノ期成同盟會トカ云フ者ニ就テモ結局ハ彼輩
 ノ煽動ニ由リテ蓄々噪キ立テルニ外ナラサレハ
 兎ニモ角ニモ該根本タル新聞社カラ處置シテ掛ラ
 サレハ所詮國會有志者處分ノ目的ハ達シカタカル
 ヘシ故ニ該件ニ就テ尤モ急務トスル処ハ第一ニ大
 社新聞ノ内一二ノ社ヲハ金カラ以テナリトモ籠絡
 シ又薄力ナル雜誌小新聞ノ如キハ禁獄ト罰金トヲ
 以テ嚴重ニ制シテ仕舞ヒ成ル丈國會有志ノ唯陸ヲ
 除テ仕舞フ策ヲ施スニ如カストノ議論アリテ宛カ
 モ近來政府カ勉メテ專治ヲ行ハル、トノ内議ニ合

シタルヨリ其説遂ニ採用セラレ漸ク今日ノ狀勢ヲ
 現出スルニ至リタルナリ杯ノ取沙汰アレト如何ナ
 ル者ニヤ其処ハ分ヌ唯日増シニ御處置向ノ嚴重ニ
 ナルニハ何トモ斯トモ恐縮ノ限リトイフヘキナリ

内務省へ回答 内閣書記官

尙新聞其他二種ノ新聞雜誌中ノ儀ニ付去月二十日
 御照會ノ趣致承知候右ハ夫々一見ノ上尙新聞第四
 十五号雜誌中ノ件ハ處分方ノ儀其筋へ申入置候依
 テ別紙三景返却此旨及御答候也 十三年十一月十六日
 大阪裁判所へ照會 内閣書記官

本年十月十五日 癸卯新聞第四十五号雜誌欄内ニ
 掲載セル左ノ件ハ謗謗律ニ依リ相當ノ處分相成ヘ
 キモノト視認候ニ付其筋へ告訴ノ儀御取計可有之

此旨及御照會候也 十三年十月十五日

前回ニモ報道セシ如ク新聞社會ノ命脉ハ云々
内閣書記官へ通牒 大阪裁判所

東京府日本橋區濱丁二丁目
十一番地平民大阪府東區
備後町二丁目三十番地魁
新聞前編輯長

若 菜 貞 示

右ノ者魁新聞第四十五号雜報欄内ニ於テ内閣ノ職
務ニ関シ譏毀セシ段檢事へ御照會ニ依リ公訴相成
候ニ付右若菜貞示吟味ノ末別紙宣告書寫ノ通申渡
候條此段御通知ニ及候也 十三年十二月三日

宣 告

東京府日本橋區濱町二丁目

十一番地平民當時

大阪府東區備後町二丁目

三十一番地魁新聞前編輯

長

若 菜 貞 爾

其方儀明治十三年十月十五日魁新聞第四十五号
雜報欄内ニ於テ前回ニモ報道セシ如ク新聞社會ノ
命脉ハ愈々危嶮ノ域ニ陥ラントス云々一篇ノ巷説
ヲ公布シ内閣官吏ノ職務ニ関シ譏毀スル科譏謗律
第四條ニ依リ罰金拾圓申付ル 十三年十二月三日

大阪裁判所